

# 仕事は「ダンドリ」で決まる

**CHECK!** “急がば回れ”  
スピードを優先したい時ほど周到な準備を！

建築計画を立てている A 社と B 社

とにかくスピード重視の A 社

準備重視の B 社



設計は完了！

A 社はすぐに建築にとりかかった…

B 社はまず準備を始めた

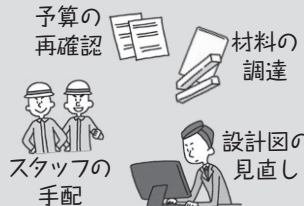
しかし…

スタッフの手配ミス

設計ミス

発注ミス

トラブルのたびに建築がストップ…



優先順位を決め、段取りをたてた

スタートは早かったのに完成が遅れてしまった



建築はスムーズに進み納期よりも早く完成した！



## ひと呼吸してしっかりと準備をする

第1章を通じて、準備をしっかりとすることの大切さが理解できたのではないのでしょうか。それでも、多くの仕事、難しい仕事に囲まれてしまうと「そうは言っても、とにかく急がないと」という気持ちになり、「何とかなるはず」とあせってスタートしたくなるものです。しかし、急ぎたいという時こそ、ひと呼吸を置いてしっかりと準備を心がけることが大切になります。

あせってスタートしてしまう場合は、後先を考えずに行動してしまう傾向が

あります。そうすると行き当たりばったりになってしまい、最初は何となくうまくいっているように見えても、作業が進むにしたがって「あっ、資料を手配するのを忘れていた」「こっちを進めていたら、あっちの進行が遅れてしまつて間に合わない」というように、次から次へと問題が出てくるものです。

そうなってしまった場合は、せっかく早く仕事をスタートしたとしても「できていないことだらけ」でやり直さなければならなくなったり、遅れを取り戻すために時間がかかってしまつたりして、結果的に仕事の完成が遅れてしまいます。こうした失敗を防ぐためにも、いきなりスタートするのではなく、しっかりと準備をすることが大切なのです。

## 「段取り」の有無で仕事に差が生まれる

ところが、このような話をすると「じゃ、最初に準備をしたらいいでしょ」と、仕事の手順や優先順位を無視して目の前のものから手当たり次第に準備を始める人がいます。

しかし、それではあせってスタートしてしまう人と大して変わりありません。しなくてもよい準備をしてしまう、しなくてはいけない準備を忘れてしまうなどのように、後から問題が発覚してしまい、結局仕事の完成が遅れてしまうからです。

そこで、「仕事の段取り」が大切になります。段取りとは、「行動をする前に、効率的に仕事を進めるにはどうしたらよいか考える」ことです。つまり、「仕事の先読み」をし、「この仕事を完成させるためには、どういう準備が必要なのか」と事前に考えることです。この「段取り」ができるかできないかで仕事のスピードや成果に大きな違いが生まれます。

## 「段取り」の有無で生まれる結果の差

ここで、「段取り」について考えていきましょう。

よく「仕事は段取りで決まる」と言われます。仕事に「段取り」は欠かせません。つまり、「段取り」ができない人は、仕事をうまく進めていくことはもちろん、仕事の成果をあげることができないのです。

なぜ、それほどまでに「段取り」が重要なのでしょうか。図解の例を参考に考えていきましょう。